

間伐体験（木を測ってみよう）

間伐する木は、伐採する前に年輪などを予想してから伐採する、という方法をとれば、観察、推定したことをすぐに確認することができ、答えのある楽しいプログラムとなる。

ねらい

チャンスがあれば、今後森づくりに関わっていききたいという気持ちをもてるようになる。

達成目標

- ・森づくりにどのような活動があるのか、説明できるようになる。
- ・森づくりの意義について、自分の意見を持てるようになる。
- ・協力して作業を実践できるようになる。



導入

ワークシートに記入する形で、これから間伐する木の高さ、各部の年輪、年輪のようす（年輪の中心が、方位のどちらに片寄っているか）などを記入する。

本体

ワークシートに沿って木の高さ、年輪などを予想する。その情報をわかちあう。その後分担して伐倒したり、サイズを測った所を切ったりする。それぞれの測定をする。予想した数字と比べてみる。以上の活動の結果を紹介しあう。

ふりかえり・わかちあい

予想と実際の結果から、一般化できるようなこととしては、何が考えられるか話し合う。

まとめ

一般化した結果について、全体で共有化する。伐採していない立木を見て、今までにない新たな（予測できる）目で見ることができていることを確認する。

実施のポイント

グループ作業にしても、全員が全項目の推定をするとよい。伐採などの作業は分担するとよい。木の太さは子どもが倒せる15cm弱の木を選んで行うとよい。

- ◆所要時間 90分（倒した木の処理は含まず）
- ◆人数 10人/本（倒した後の観察人数）
- ◆関連教科等 総合的な学習の時間、理科
- ◆焦点を当てる能力 予想する、協力して作業する、正確に測定する、考察する、一般化する
方位磁石、ワークシート、
- ◆準備するもの クリップボード、筆記用具、作業の道具一式
- ◆安全のポイント 太い木を伐採しないまでも、間伐には大きな危険が伴うので、事前に十分な危険予測を行うことと、作業前に全員できちんと安全の確認をしておくこと
専門家の指導のもとと実施して下さい

評価の視点

一連の活動（特に一般化の検討）に興味をもって積極的に関わられたか、という点を大切にしたい。

発展・応用

広葉樹を伐採するチャンスがあれば、同様の調査をし、比べてみるとよい。

篠木 真氏のオリジナルプログラムをアレンジして掲載

間伐体験（木を測ってみよう）

せんたん
木の先端

	よそう 予想	m	じっそく 実測	m
1/4	ねんりん 年輪の数【予想】		年輪の数【実際】	
1/4	年輪の数【予想】		年輪の数【実際】	
1/4	年輪の数【予想】		年輪の数【実際】	
1/4	年輪の数【予想】		年輪の数【実際】	

ね もと
根 元

年輪を書いてみましょう。

年 月 日 名前